

# 事例③ 〈物流〉

ピッキング

## 出荷指示に基づき出庫品を収集します。

①ピッキングの際は、出荷指示情報がQRコード化されたピッキングリストをハンディターミナルで読み取り、ピッキングデータを登録します。



出荷指示情報発行

ピッキングデータ登録

②ハンディターミナルの指示通りに出庫対象製品の梱包箱ラベルを照しながらピッキングを実施します。もし誤った製品をピッキングした場合にはエラー音で通知されますのでミスの撲滅も可能です。



ピッキング



梱包箱ラベルと照合

対象外製品を読んだ際は…



エラー音とバイブで通知！

## QRコードラベル



出荷指示書のQRコード  
・オーダーNo ・品目 ・品番 など  
■情報量 約300桁



梱包箱のQRコード  
・品番 ・シリアルNo ・品目  
■情報量 約55桁

## パッキングを行い、物流センターから出庫します。

③ピッキングデータをパソコンにアップロードすると、同時に送荷書・宅配伝票が自動的にプリンタより発行されます。



アップロード



送荷書・宅配伝票出力

④製品の出荷の際は、ピッキングリスト・送荷書・宅配伝票のQRコードをハンディターミナルで紐付けをしてパッキング作業を行います。最後にハンディターミナルのデータをアップロードして出庫処理を行い、製品を出荷します。



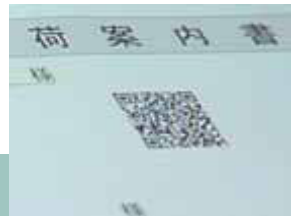
三点照合



出庫処理



製品出荷



送荷書のQRコード  
・オーダーNo ・品目 ・品番 など  
■情報量 約100桁

出荷処理

## 効果

### トレーサビリティ

送荷書のQRコード、製品箱ラベルのQRコード、宅配伝票のバーコードが紐付けされていることにより、いつ何処にどの製品を出荷したかを製品のシリアル番号などから追跡することが可能です。

### 作業効率の向上

以前は全て手書きで記入していた送荷書・宅配伝票が、ハンディターミナルを通信ユニットにセットするだけで自動的にプリンタより出力されますので工数の削減に繋がります。

### 品質管理の徹底

従来は二人がかりで行っていたパッキング作業が、送荷書のQRコードと梱包箱ラベルのQRコードを照合することにより、出荷ミスのない確実なパッキング作業を一人で行うことができます。